



京都市緑のボランティアセンターでは、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、緑に関する情報や取組みを御紹介します。

公園愛護協力会の御紹介

京都市が管理している公園では、近隣にお住まいの方々等で結成されているボランティア団体（公園愛護協力会）のみなさんに、公園の清掃や除草を中心とした公園の美化活動を展開していただいています。今回は、南区の琵琶塚公園愛護協力会の活動を御紹介します。

琵琶塚公園



住宅地に位置する琵琶塚公園は、昭和18年に設置された公園面積4,938㎡の街区公園です。広々としたグラウンドの横にはブランコやシーソーなどの遊具のほか背伸ばしベンチ、ぶら下がり器などの健康遊具もあり、幅広い世代が楽しめる公園です。また、トウカエデ、サクラ、イチヨウなどの樹木が立派に育っており、心地よい木陰を作っています。大きな公園にも関わらず、日々の清掃が行き届いている気持ちの良い公園を維持する秘訣を会長の工藤さんにお聞きしました。

活動はコミュニケーションの場

琵琶塚公園愛護協力会は、現在14名の会員のみなさんで活動されています。毎月第2日曜日の9時から行われる定例作業では、主に草刈り、生け垣の刈り込み、落ち葉清掃のほか公園周りの清掃が実施されています。

工藤会長に活動のきっかけを伺うと、「琵琶塚公園を子どもが利用しており、愛護協力会の方が活動されている様子もよく見かけておりましたので、私も力になれないかなと思い、参加するようになりました」ということでした。

会員のみなさんによると、特に夏の草刈りや秋の落ち葉清掃が大変だということですが、「公園に来るだけでも良い運動になる」、「家にこもっているより良い」、「健康のため」と前向きな気持ちで活動されています。

「ここに来るとコミュニケーションがとれて楽しいです。お喋りして励ましあいながら活動しています」と話すのは会員の竹下さん。単に作業をするだけではなく、コミュニケーションの場にもなっているようです。

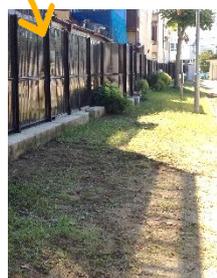


公園を囲む生け垣の刈り込みは防犯のためにも大切な作業だそうです。

定例作業は月に一度ですが、毎日誰かしらのごみ拾いや草刈りをされており、「みなさんの意識の高さが、きれいな公園づくりに繋がっているのかもしれない」と工藤会長は語ってくれました。また、長年活動を続けられている会員の野間さんに、活動を継続するコツをお伺いすると、「その日の体調によってできることを自分で調整して、無理をしないことが大切です。仕事ではないので気負わずやっています」と笑顔でお話いただきました。



地域全体で公園を守る



一時間ほど作業を続けると、足元に伸びていた雑草がなくなりすっきり！

訪問した令和4年9月12日は、年に4回ある一斉清掃の日でした。公園内の清掃だけではなく、公園周りの道路のごみ拾いなども行われました。清掃には、同会の会員のほかに近隣にお住まいの方々を含め約40名が参加されました。小学生から年配の方まで幅広い世代が集まり、中には親子で参加されている方の姿も見られました。集合時間よりも早くから人が集まり、みなさんすぐに作業にとりかかられていました。「水分とって」、「休憩してね」、「大きいゴミ袋を運びます」と、それぞれ声を掛け合いながら作業されており、活気にあふれていました。工藤会長によると「やる気のある人ばかりが参加してくれます。嫌々やる人はいません」とのこと。地域全体で公園をきれいにしようという雰囲気を感じることができました。

清掃後、会員のみなさんが中心となりテキパキとごみをまとめ片づけられていました。「これといって特別なことをしているわけではないです。これからも今までと変わらずコツコツと活動に取り組みたいと思います」と話す工藤会長。前向きに活動に取り組まれているみなさんの姿に、美しい公園づくりのヒントをうかがうことができました。

公園愛護協力会の結成や活動に関して

対象となる公園を所管するみどり管理事務所までお気軽にお問い合わせください。

- 京都市北部みどり管理事務所（TEL：075-882-7019 FAX：075-882-7300）
北区、上京区、左京区、中京区、右京区、西京区
- 京都市南部みどり管理事務所（TEL：075-643-5405 FAX：075-643-0075）
東山区、山科区、下京区、南区、伏見区

公園を維持管理しているみどり管理事務所は、令和5年度に土木事務所との統合を予定しています。
詳しくは、別紙のお知らせをご覧ください。

北野白梅町交差点 雨庭の御紹介

京都市では平成29年度から雨庭の整備を進めており、四条堀川交差点をはじめ、これまでに8か所の雨庭が整備されました。

今回は、令和3年度に完成した北野白梅町の雨庭を御紹介します。この雨庭は北野白梅町交差点付近の7つの植栽帯に整備され、イロハモミジ、ユスラウメなどの中木、アセビ、カンツバキ、オタフクナンテン、クサツゲなどの低木が植栽されて、季節ごとの姿を楽しめます。また、オカメザサ、フィリヤブランなどグランドカバーが組み合わせられ、人・車ともに交通量の多い交差点に彩りが増えて、人々に癒しを与えています。



アセビ ツツジ科 (開花期:2~4月)

早春に、スズランやドウダンツツジに似た、小さな壺型の花を鈴なりに咲かせます。楕円形の葉は、冬も枯れない常緑で、表面は艶やかです。



オタフクナンテン メギ科

丸みを帯びた葉っぱが特徴です。気温が低くなると、真っ赤に紅葉して美しい姿を楽しめます。



フィリヤブラン キジカクシ科 (開花期:8~10月)

革質の葉はしなやかで強く、長い穂を伸ばして青紫~白色の花を咲かせます。ジャノヒゲと似ていますが黒い実がなるのがフィリヤブランです。

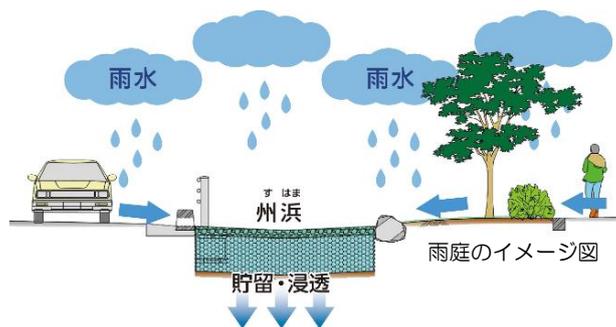


雨庭とは

雨水を下水道に直接流さず一時的に貯留し、ゆっくり地中に浸透させる構造をもった植栽空間のことです。



↑詳細はこちら



道路や公園等の損傷箇所投稿アプリ「みっけ隊」

「みっけ隊」はスマートフォンから道路等の損傷箇所を写真と地図情報で投稿できるアプリです。普段何気なく歩いている道、いつも遊ぶ公園、そんな場所で不具合を見つけたら・・・ぜひ、みっけ隊アプリをダウンロードして投稿して下さい！

皆さんからの投稿
お待ちしております！



みっけ隊 🔍 で検索！

みっけ隊ホームページ

<https://mikketai.city.kyoto.lg.jp>



お知らせ

御池通に設置している「御池通スポンサー花壇」において、令和4年11月30日に冬の植替えを行いました。近くをお通りの際には、ぜひ御覧ください。



パンジー

和名「三色スミレ」。耐寒性が強く花色も豊富で丈夫なため冬の花壇でよく使われる植物です。今回は、花色を限定せず様々な花色が楽しめるように植わっています。



プリムラ・ジュリアン

様々な花色があり、寄せ植えにも広く利用される植物です。耐寒性も強く、花壇にも適しています。今回は、バラ咲きの品種を使用しています。

御池通スポンサー花壇とは

京都市では、市民の皆様との協働により四季折々の草花を身近に楽しむことのできる「御池通スポンサー花壇」を設置し、歩いて楽しい緑と花いっぱいのもちづくりを推進しています。花壇は、御池通（堀川通～鴨川間）に34箇所設置しています。

スポンサー・サポーター募集中！

花壇の育成管理に対する協賛企業・団体（スポンサー）、日常管理や植替えへの協力者（サポーター）を随時募集しています。申込は京都市みどり政策推進室（222-4113）まで！



↑ 詳細はこちら

「新しい生活様式」
を心がけて公園を
使おう！
～4つのポイント～



体調が悪いときは
利用を控える



時間・場所を選び
ゆずりあおう



人と人との
あいだをあげよう



こまめに
手洗いしよう



出典：国土交通省作成「新しい生活様式」を踏まえた公園利用のポイント（2021年4月26日版）



京都市 緑のボランティアセンター 専用窓口のご案内

緑のボランティアセンターでは、団体の活動に関する技術的指導・支援やボランティア団体の橋渡しなど、さまざまな支援を行っています

団体を作りたい、参加したい

花壇のデザインを考えたい

作業日に道具を借りたい

お気軽に
ご相談
ください

電話：075-352-2535（梅小路公園内専用回線）

場所：梅小路公園緑の館2階ロビー（京都市下京区観喜寺町56-3）

時間：午前9時～午後5時まで 月曜日を除く毎日（年末年始12月28日～1月4日休み）

